

2021年度コビトハウス・オレンジハウス 自己評価実施結果報告書

1) コビトハウス自己評価実施結果

調査概要

調査方法：保護者・職員に配布と郵送、無記名式質問紙調査。

実施時期：2020年11月1日～11月15日

対象人数：保護者19名 職員6名

回収率：保護者12部（63%）職員6部（100%）

保護者評価の結果

保護者評価の高い項目は、①子どもの活動等のスペースが十分に確保され、安全への配慮がなされているか ②職員の配置や対応は適切であるか ③保護者アンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか ⑬通信等で、活動概要や行事予定を子どもや保護者に対して発信しているか ⑱子どもは通所を楽しみにしているか であった。評価の低い項目は、④職員は資質向上を行うために研修に等に参加しているか ⑦放課後児童クラブや児童館と交流する機会があるか ⑭この保護者アンケートを通信・ホームページ等で公開しているか であった。

なお、自由記述欄の特記すべき内容としては、以下のような回答があった。

- ・利用時間を長くしてほしい
- ・安心して預けられます

職員評価の結果

職員評価の高い項目は、以下のような項目で

あった。①利用定員が指導訓練スペースとの関係で適切であるか ③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか ④業務改善をすすめるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか ⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか ⑧職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか ⑨アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか ⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか ⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか ⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか ⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか ⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか ⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか ⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか ⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか ⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせているか ⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者

が参画しているか ㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか ㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか ㉓児童発達支援センターや発達障害者支援センターの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか ㉔日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか ㉕保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか ㉖運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか ㉗保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか ㉘子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか ㉙定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか ㉚個人情報に十分注意しているか ㉛障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか ㉜緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか ㉝非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか ㉞虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか ㉟どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか ㊱食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか ㊲ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか であつ

た。

職員評価の低い項目は以下の5つであった。
㉑第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか ㉒放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか ㉓（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか ㉔父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか ㉕事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか、であった。

サービスの改善に向けて検討すべき課題

この結果を受けて職員で話し合ったところ、今後コビトハウスのサービス改善に向けて検討すべき課題として、アンケートの実施状況や職員の研修情報を通信の内容に入れていくことで、保護者に伝えられるようにする。また、保護者からの連絡方法として新たにメールアドレスを設定し、より連絡を取りやすうようにする。

今年度自己評価実施で改善したこと

保護者アンケートに、活動のことや要望などを書き込めるよう自由記載欄を設けた。これにより、普段聞き取れない貴重なご意見をいただくことができた。

2) オレンジハウス自己評価実施結果

調査概要

調査方法：保護者・職員に配布と郵送、無記名式質問紙調査

実施時期：2021年11月1日～11月15日

対象人数：保護者23名 職員7名

回収率：保護者14部（61%）職員7部（100%）

保護者評価の結果

保護者評価の高い項目は、以下の10項目であった。①子どもの活動等のスペースが十分に確保され、安全への配慮がなされているか ②職員の配置や対応は適切であるか ③保護者アンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか ⑤活動プログラムが工夫されているか ⑨支援の内容について丁寧な説明がなされたか ⑩日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか ⑪保護者に対して育児に関する助言等の支援が行われているか ⑬通信等で、活動概要や行事予定を子供や保護者に対して発信しているか ⑮子どもは通所を楽しみにしているか ⑲事業所の支援に満足しているか

一方で、保護者評価の低い項目は、④職員は資質の向上を行うために、研修等に参加しているか ⑦放課後児童クラブや児童館と交流する機会があるか ⑭この保護者アンケートの結果を通信・ホームページ等で公開しているか の3項目であった。

なお、自由記述欄の特記すべき内容としては、以下のような回答があった。

- ・家族参加のイベントがあるとよい
- ・利用時間を長くしてほしい
- ・子どもが毎回楽しみに参加している

また、児童発達支援のみの回答としては以下の内容があった。

- ・学習支援に関する項目と放課後児童クラブ等の交流に関する項目は、対象年齢ではないためわからない
- ・避難訓練に関して、利用時間で行われていないのでわからない

職員評価の結果

職員評価の高い項目は、以下の項目であった。②職員の配置数は適切であるか ⑤保護者

等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか ⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか ⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか ⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか ⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか ⑫活動プログラムが固定しないよう工夫しているか ⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか ⑯支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか ⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか ⑰学校との情報共有、連絡調整を適切に行なっているか ⑳就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか ㉔日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか ㉘運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか ㉚保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか ㉜子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか ㉞定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか ㉟個人情報に十分注意しているか ㊱障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか ㊳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周

知しているか ㉓非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか ㉔虐待を防止するため、職員の研修きかいを確保する等、適切な対応をしているか ㉕どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか ㉖食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか ㉗ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

一方、職員評価の低い項目は、以下の4項目であった。㉘第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか ㉙放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか ㉚父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか ㉛事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか であった。

サービスの改善に向けて検討すべき課題

この結果を受けて職員で話し合ったところ、今後オレンジハウスのサービス改善に向けて検討すべき課題として、お便りを通して職員の研修参加状況やアンケートの実施・結果等を伝えていく。また、新たにメールアドレスを設定し、保護者との連絡ツールを増やすことで、これまで以上に保護者と連絡を取りやすくしていく。

今年度自己評価実施で改善したこと

保護者アンケートに、活動のことや要望などを書き込めるよう、自由記載欄を設けた。これにより、普段聞き取れない貴重なご意見をいただくことができた。

3) 総合的な評価

前年に引き続きコロナ禍の不安定な状況の中、これまで通り日々の事業所の運営と支援の提供、そして自己評価が実施できたことをまずは感謝とともに受け止めたい。

これまで弊社のサービス向上における課題のひとつに、情報発信があった。今年度は保護者向け通信発行の頻度が高くなり、その結果は今回の評価に現れている。

今後は地域交流や保護者会の開催などにより、地域に開かれた事業所となるよう務めていきたい。

なお、この文書も含めてこれまでに行った自己評価の結果は以下のURLで一般に公開されている。合同会社コビットランドホームページアドレス <http://www.kobitoland.com>「よくある質問」→「事業所の自己評価の実施状況はどうなっていますか？」

<http://www.kobitoland.com/qa/index.html>

(文責：2020年度 合同会社コビットランド広報委員会 鈴木ゆき・皆川愛菜)